

第1回不燃・粗大ごみ等処理施設及び最終処分場整備に係る候補地検討委員会議事録

日時	令和7年5月19日 13:30～15:15		場所	萩・長門清掃工場管理棟2F研修室
出席者	委員	関根 雅彦（山口大学名誉教授） 樋口 隆哉（山口大学大学院創成科学研究科教授） 山本 浩一（山口大学大学院創成科学研究科教授） 金子 栄一（萩市環境審議会会長） 中本 真弓（萩市廃棄物減量及び地域美化推進審議会委員） 上田 洋一（長門市ごみ減量等推進審議会会長） 長井 貞美（長門市環境審議会委員） 細井 充（萩市市民部長） 大田 哲也（長門市市民生活部長）		
		事務局	植村 正（事務局長） 山下 琢也（事務局主幹） 河野 裕昭（事務局主幹（併萩市環境衛生課長）） 西本 達夫（事務局主幹（併長門市生活環境課長）） 厚東 満弘（施設整備係長）	
	事務局補佐		望月 俊彦（株式会社東和テクノロジー） 武田 真爾（株式会社東和テクノロジー）	
資 料	資料1	不燃・粗大ごみ等処理施設及び最終処分場整備候補地検討委員会委員名簿		
	資料2	不燃・粗大ごみ等処理施設及び最終処分場整備候補地検討委員会設置要綱		
	資料3	会議の公開・非公開について		
	資料4	不燃・粗大ごみ等処理施設及び最終処分場整備に係る候補地検討方針（案）		
次 第	1. 開会			
	2. 委嘱状の交付			
	3. 組合管理者（萩市長）あいさつ			
	4. 自己紹介			
	5. 委員長・副委員長の選任について			
	6. 議事			
	(1) 会議の公開・非公開について（資料3）			
	(2) 不燃・粗大ごみ等処理施設及び最終処分場整備に係る候補地検討方針（案）について（資料4）			
	(3) 先進地視察について			
	候補日：令和7年7月1日（火）			
	2日（水）			
	3日（木）			
	上記のうち、いずれか1日で実施			
	場 所：山口市大浦一般廃棄物最終処分場			
	周南市リサイクルプラザ「ペガサス」			
	(4) 次回の委員会の開催予定について			
	日時：令和7年8月上旬 13時30分から			
	会場：萩・長門清掃工場管理棟2F研修室			
	7. その他			
	8. 閉会			

議事録
開会 委嘱状の交付 ・田中管理者から、関根委員に委嘱状を交付（代表受領） 組合管理者（萩市長）あいさつ ・挨拶終了後、管理者退席 自己紹介 ・委員9名、事務局5名、事務局支援2名の自己紹介 委員長・副委員長の選任について ・選出方法について、委員会に諮ったところ、委員より事務局一任の声あり。 ・事務局案として、委員長に関根委員、副委員長に樋口委員を推薦し、委員会において承認。 ・関根委員長、樋口副委員長より、就任の挨拶。 議事 ・委員会設置要綱第6条第2項の規定による委員9名中9名の出席により会議が成立していること、また、委員会設置要綱第6条の規定により委員長が議長を務めることを報告。 （1）会議の公開・非公開について ・事務局より「資料3 会議の公開・非公開について」説明。 ○質疑 【委員】資料3の記載にある「適当と判断した情報を改めて公開する」とは、どの範囲までの情報公開を本委員会で判断するものか。 【事務局】候補地が確定した後に公開が求められた場合、事務局が情報公開に支障がないと判断した上で公開する。委員会発足中に対応が必要な場合は、委員会で諮る。 【委員】公開の必要性が生じた場合に判断するという理解であり、積極的に過程を示すという意味での公開ではないということでしょうか。 【事務局】公開が望ましいと判断できる情報については、積極的に公開するなど、柔軟に対応する。 【委員長】委員会は原則公開とする。ただし、非公開情報に該当する事項がある場合は非公開とする。本日の委員会には非公開情報に該当する内容はないため、公開したいと考えているが、問題ないか。 ～一同、意義なし～

議事録

異議がないようなので、本日の委員会は公開とする。

- (2) 不燃・粗大ごみ等処理施設及び最終処分場整備に係る候補地検討方針（案）について
・事務局より「資料4 不燃・粗大ごみ等処理施設及び最終処分場整備に係る候補地検討方針（案）について」説明。

○質疑

【委員】施設設置基準に「既知の活断層の直上でないこと」とあるが、資料18ページには山口県地域防災計画の抜粋が掲載されている。この資料に示された県内12の断層は被害想定を検討したものに限られており、実際にはより多くの活断層が存在する。奈古断層や三ヶ岳東方断層などの情報も追加掲載するべきではないか。

【事務局】ご意見を反映する。

【委員】資料11ページの図表4-1ではAランクの地域が、前の10ページの説明では「施設の立地に適さない地域」となっている。また、13ページの図表4-2に記載された「計画施設の立地に適さない地域」との間に不整合がある。対応関係を整理し、説明してほしい。

【事務局】重点地域や保存林など、該当箇所を再整理し、修正を行う。

【委員】施設集約によって中継施設が必要となる場合、その議論は基本構想の範囲内か、それとも本委員会の検討範囲となるのか。

【事務局】立地によっては中継施設の検討が必要となるため、二次調査で収集・運搬のケースを含めて検討する。ただし、基本構想の進捗が遅れると本委員会の検討も遅れるため、萩市・長門市と協議しながら進める。

【委員】本委員会の役割は、有効な複数の候補地を選定した段階で終了するという理解でよい。また、基本構想の進捗と委員会のスケジュール、開催頻度を明示してほしい。

さらに、最終処分場は排水量の少ない被覆型を前提とするとのことだが、その形式については本委員会で議論するのか、それとも基本構想で整理し、それを前提に候補地を検討するのか。

また、事業の実施には地権者との関係が重要である。「地権者の数が少なければ法的手続きは比較的容易」という程度の評価までで終わるのか、住民感情や地域性にも配慮する必要があるのか。

【事務局】本委員会の役割は、ご指摘のとおり。次回委員会は8月上旬予定。施設の概要は基本構想で整理するため、基本構想の進捗に合わせて委員会を開催する。また、施設概要は基本構想の中で整理されるため、本委員会ではそれを前提として候補地を検討する。

事業の実効性については、候補地検討委員会では、事務局が策定した評価基準案を提示

議事録

し、委員会の意見や助言をもとに修正を進める。候補地の評価（一次評価・二次評価）について、透明性と妥当性を委員会で確認する形を取る。

【委員長】9 ページの図では、候補地抽出後に評価基準が提示される流れとなっているが、透明性のある議論を行うためには、先に評価基準を決定し、それに基づいて候補地を抽出するべきではないか。

【事務局】ご指摘のとおり、順序を整理する。

【委員】基本構想が策定された後、組合議会へ報告されると思うが、それまで本委員会に資料が提示されなければ十分な検討が難しくなる。基本構想の整理の流れと委員会の検討の流れを改めて示してほしい。

【事務局】現在、両市の現状に即したモデル施設を検討中である。候補地決定前に評価基準を委員会へ諮りながら進めるため、基本構想と並行して議論を進める方針である。スケジュールは調整しながら進める予定である。

【委員長】海面が除外されているが、理由を記載しておくべきではないか。

【事務局】日本海沿岸の多くは北長門海岸国定公園に含まれており、瀬戸内側とは異なり、海洋の埋め立てが困難である。その旨を記載する。

【委員長】14 ページの図では、自然公園地域に含まれない部分が一部存在する。将来的に「この海面の場所も候補地ではないか」と指摘される可能性があるため、除外理由を明確に記載すべきではないか。

【委員】20 ページに記載されている「海域の共同漁業権などの調査」は、具体的にどのように選定に関わるのか。

【事務局】海域に直接関係がなくても、海に近い地域では排水の影響を考慮するため、漁業権も調査項目に含めている。

【委員】海域への直接放流を想定して調査を行っているのか。

【事務局】直接放流は想定していないが、施設が海に近い場合、周辺住民の不安や懸念が生じる可能性があるため、それを考慮した調査である。

【委員】14 ページの図では、内陸側にも自然公園地域が入り込んでいる箇所がある。基本的にそのような場所は候補地の対象外と考えてよいのか。

議事録

【事務局】そういった地域は検討対象から除外する方針である。

【委員】陸域が自然公園地域に該当しなくても、海域が自然公園地域に指定され、さらに漁業権が設定されている場合、隣接地を候補地として選定すると印象が良くないということか。

【事務局】そのように考えている。

【委員】候補地抽出の際、一次選定の前段階として、「ゼロ次選定」ともいえるスクリーニングを実施するという理解でよいか。

【事務局】次回委員会での候補地抽出は、スクリーニング作業に相当する。提示する候補地検討方針案が基準となり、スクリーニングを経て最終的な候補地が抽出される。

【委員】基本構想のスケジュールと本委員会のスケジュール感を分かりやすく示してほしい。

【事務局】組合議会のタイミングに合わせて、基本構想の概要や進捗を報告し、議員の審議を経て検討委員会で議論する形を取る。基本構想の進捗に影響を受ける可能性はあるが、議会との整合性を丁寧に図りながら進めていく。

【委員】検討委員会の期間は1年なのか2年なのか。また、施設の設置に必要な土地の広さや適正な場所の基準を示してほしい。

【事務局】基本構想に沿ったモデル施設を想定し、施設の規模や面積を算出した上で候補地を検討する。次回の検討会前にその作業を実施し、委員会に提示する予定である。

【委員】基本構想や候補地の検討、スクリーニングなどを少しずつお聞きしていきたいと思っている。

【委員】限られた時間の中で進める必要があるため、施設の概要をより詳細に決定した上で委員会の議論を進めるべきではないか。事業が初めての検討委員会であるため、勉強しながら慎重に進めたい。

【事務局】貴重な意見を踏まえ、検討方針案を重要な指針として皆様の意見を反映しながら進めていく。

【委員長】書類の（案）を正式なものとするにあたり、「埋め立て終了時期が迫っている状況」と記載されているが、具体的な残余容量や埋立期間を明記すべきではないか。また、17ページでは市街地から500mが留意点として説明されているのに、施設から300mの基準のみが採用された理由についても補足が必要ではないか。

議事録

【委員】次回提示される地図では、幹線道路から1キロ以内のエリアを対象とし、適していない場所を除外した結果が示されるという理解でよいか。

【事務局】その方針に基づき、条件を踏まえた上で抽出エリアを設定する。

【委員長】(案)をそのまま確定するのではなく、若干の修正を加えた上で正式な検討方針とするという理解でよいか。次回、評価基準案を提示し、候補地を抽出するためには、この方針の(案)を確定する必要がある。そのため、いただいたコメントを踏まえた修正については、私が確認することによいか。

～全委員、委員長一任に承諾～

(3) 先進地視察について

- ・事務局より、先進地視察について説明。

候補日 令和7年7月1日(火)、2日(水)、3日(木)の3日間

視察先 山口市大浦一般廃棄物最終処分場

周南市リサイクルプラザ

各委員の、都合等を確認し、3日(木)を第1希望として視察先と調整することを確認。

(4) 次回の委員会の開催予定について

- ・事務局より、次回委員会の開催予定について連絡。

日時 8月4日(月)から8月8日(金)間を予定

時間 13時30分から

場所 萩・長門清掃工場管理棟2F研修室

その他

- ・事務局からは、特になし。

閉会

- ・萩・長門清掃一部事務組合事務局長が閉会のあいさつ。

以上